

第33回道銀芸術文化奨励賞 受賞記念
水野剛志展

2024年2月10日(土)～2月25日(日)
午前10時～午後6時
らいらっく・ぎやらりい

らいらっく・ぎやらりい
札幌市中央区大通西4丁目
北海道銀行本店ビル1F
地下鉄大通駅【出口4】【出口9】直結

大通 公園
西4丁目 西3丁目
北海道銀行 ●三越
●パルコ
市電

公益財団法人 道銀文化財団
札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀ビル別館8F
TEL : (011) 233-1029 / FAX : (011) 221-0481
URL <https://www.dogin-bunkazaidan.org>

本冊子に掲載されている図版等の無断転載を固く禁じております。

ごあいさつ

第33回道銀芸術文化奨励賞受賞を記念して
三笠市在住の日本画家 水野剛志さんに
個展を開いていただくことになりました
作家独自の感性で捉えた世界観を
是非この機会にご高覧賜りますよう
ご案内申し上げます

2024年2月

公益財団法人 道銀文化財団



レブンアツモリソウ

寸法: 180×140mm(F0号)

材質: 雲肌麻紙・膠・岩絵具・水干絵具

制作年: 2022

表紙作品: 北方風月斜里岳図 (部分)

寸法: 909×1167mm

材質: 雲肌麻紙・膠・岩絵具・水干絵具

制作年: 2022

透きとおる—水野剛志の世界

京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)で石本正、竹内浩一、西野陽一、八木幾朗らに日本画を学び、卒業後、日本の四季を描いていた水野剛志は、15世紀のボッティチェリ《プリマヴェーラ(春)》などに見られる西洋の自然親和的な絵画表現を比較研究したいと考え、イタリアで学ぶなど、広い視野と探究心で表現を磨いてきた。故郷・北海道へ移転後は、風土との親密な対話を重ね、定型に陥りがちな主題を清新なイメージへと結実させている。それらは展色材の濁りのないフレスコ画のような味わいをもつが、主に天然の岩絵具で薄塗りを重ねる繊細な描法に、エアブラシでの着彩を加えるなど、確かな技術と自由な発想で透明感のある微かに発光するような画面が生み出されている。同時に、描かれた山や花は触覚を刺激するような存在感も湛えて観る者を画中へ惹きこみ、密やかな対話へと誘う。水野の見出した清澄さや神秘感とリアリティが内心に強く働きかけるのである。古今東西の美意識や技を、今、北に住まう画家の眼ざしに無理なく溶かし込んでいるのが強みといえよう。

土岐 美由紀 (北海道立近代美術館学芸部 学芸統括官)



第33回 道銀芸術文化奨励賞 美術部門受賞

みず の ひさ し
水 野 剛 志 (日本画)

1977年生 札幌市出身・三笠市在住

【略歴】

2002年 京都芸術大学(前 京都造形芸術大学)
美術工芸学科 日本画コース卒業

【主な受賞・入選歴】

- 2001年 日本芸術文化財団 奨学生
- 2002年 全国和紙画展 銀賞(美濃和紙の里会館/岐阜県)
万葉日本画大賞 入選(奈良県万葉文化館)
- 2005年 第1回 茶廊法邑ギャラリー大賞展 優秀賞(茶廊法邑/札幌市)
- 2019年 Seed 2019 日本画アワード 入選(山種美術館/東京都)
- 2022年 第9回日本画公募展 前田青邨記念大賞 入選(東美濃ふれあいセンター/岐阜県)

【近年の主な活動歴】

- 2008年 Il Sol levante verso il Bel paese 日本からイタリアへ(東京イタリア文化会館)
- 2013年 樽前arty「だれかが見たこの街」(樽前小学校/苫小牧市)
- 2016年 ユネスコ世界ジオパーク認定記念事業 個展(様似町中央公民館)
日本画グループ「尖」展 招待作家(京都市美術館)
個展「山」(Gallery Retara/札幌市)
- 2018年 鼓動する日本画展 CONNECT(ポルトギャラリー/札幌市)
- 2019年 絵で楽しむアポイ岳ジオパークI 個展(様似町中央公民館)
鼓動する日本画展 MOVE(JRタワープラニスホール/札幌市、網走市立美術館)
- 2022年 鼓動する日本画展 MOVE(小川原脩記念美術館/倶知安町)
個展「消えゆく花の記憶」(Gallery Retara/札幌市)
- 2023年 鼓動する日本画展(三越ギャラリー/札幌市)
個展「消えゆく花の記憶」(様似町中央公民館)



イチヨウラン

@アポイ岳
制作年:2020



コマクサ

@雌阿寒岳
制作年:2021



チシマセンブリ

@アポイ岳
制作年:2021



リシリヒナゲシ

@利尻岳
制作年:2022